

福島第一原子力発電所の状況

2016年2月4日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (2/4 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	給水系：約2.6 m ³ /h	14.6	0.99 kPa g	A系： 0.05 vol %
		炉心スプレイ系：約1.9 m ³ /h			B系： 0.00 vol %
2号機	淡水 注入中	給水系：約1.8 m ³ /h	19.5	5.96 kPa g	A系： 0.01 vol %
		炉心スプレイ系：約2.4 m ³ /h			B系： 0.00 vol %
3号機	淡水 注入中	給水系：約1.9 m ³ /h	17.8	0.23 kPa g	A系： 0.09 vol %
		炉心スプレイ系：約2.3 m ³ /h			B系： 0.09 vol %

< 2. 使用済燃料プール(SFP)の状況 > (2/4 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	SFP 水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	10.4
2号機	循環冷却システム	運転中	27.9
3号機	循環冷却システム	運転中	17.5
4号機	循環冷却システム	運転中	6.3

各号機 SFP および原子炉ウェルヘヒドラジンの注入を適宜実施。

[1号機]

- ・使用済燃料プール代替冷却系について、当該系統の弁点検のため、2/5 14:00～2/17 18:00(約 292 時間)停止予定。使用済燃料プール温度は 0.055 /h で、停止中の温度上昇は最大で約 16.1 と評価されることから、運転上の制限値 60 に対して余裕があり、使用済燃料プール水温度の管理上問題ない。

< 3. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (2/4 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種 除去設備 (ALPS)	増設多核種 除去設備	高性能多 核種 除去設備
運転 状況	停止中 ^{*1}	運転中 ^{*1}	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット 試験中 ^{*2}	ホット 試験中 ^{*2}	ホット 試験中 ^{*2}

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。 *2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

< 4. その他 >

- ・2014/6/2～ 陸側遮水壁工事を開始。
- ・2015/4/30 12:00～ ブライン(不凍液)循環設備の健全性や地下水の流れによる影響等の確認のため1～4号機建屋の山側(18箇所)を対象に試験凍結を開始。
- ・2015/5/27～ 構内で今後使用しないフランジボルト締めタイプのRO濃縮水貯槽の解体作業を開始。
- ・2016/1/21～ H4エリアにおいてフランジ型タンクの解体を開始。
- ・各建屋に接続しているトレンチ・ダクト内の滞留水状況調査の一環として、2015/12/3 に採取した廃棄物処理建屋間連絡ダクト滞留水の、放射性物質濃度分析結果が上昇。原因調査のため、2016/1/19 から 1/21 にかけて当該ダクトからプロセス主建屋への滞留水の移送を実施。その後の調査において、滞留水移送後の連絡ダクト滞留水の水位および水質に変化は確認されていない。このことから、更に水位を低下させて調査するため、2/29:42 に、仮設ポンプによる当該ダクトからプロセス主建屋への滞留水移送を開始。なお、当該移送については、2/6 まで断続的に実施する。

[1号機原子炉建屋カバー解体作業]

1号機原子炉建屋カバー（以下、建屋カバー）解体作業を開始。

- ・2015/5/15 6:45～5/20 13:11 建屋カバー屋根パネルからの飛散防止剤の散布作業を実施。当該作業期間中において、ダストモニタおよびモニタリングポストの値に有意な変動なし。
7/17 7:06～7/21 9:10 建屋カバー屋根パネル貫通孔からの飛散防止剤の散布作業が終了。
7/28 建屋カバー屋根パネルの取り外し作業を開始。10/5 に全ての屋根パネルの取り外しが完了。
- ・2016/1/8～ 支障鉄骨の解体作業を開始。

[サブドレン他水処理施設の状況]

・2015/9/3 サブドレン他水処理施設運用開始。

9/17～サブドレン他水処理施設による地下水のくみ上げについて、昼間のみの間欠運転から24時間連続運転に切り替え実施。

・一時貯水タンクEの当社および第三者機関による分析結果[採取日 1/28]は、同等の値であり、共に運用目標値を満足していることから、2/4 10:01～海洋へ排水。

[地下水バイパスの状況]

・地下水バイパス揚水井 No.1～12のサンプリングを継続実施中。

[1～3号機放水路の状況]

1～3号機放水路については、1号機放水路上流側立坑および2号機放水路立坑において、セシウム137の濃度が上昇したことから定期的に水質調査を実施。

<最新のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

[構内側溝に敷設されている耐圧ホースからの漏えいについて]

<K排水路排水口のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

[H4、H6エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連]

<H4・H6エリア周辺、福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

[タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況]

<地下水観測孔・海水サンプリング実績>

- ・2/2 に採取した地下水観測孔 1-17 のセシウム134 については、前回値(1/29 採取)が検出限界値(0.36Bq/L)未満に対して220Bq/L、セシウム137 については、前回値(1/29 採取)が0.64Bq/L に対して1,000Bq/L に上昇していることを確認。

1-17 以外の地下水観測孔のセシウム134、セシウム137 を含むガンマ核種および全ベータ分析結果については、有意な変動は確認されていない。海水の分析結果についても、前回と比較して有意な変動はなかったことから、周辺への影響はないものと考えている。

No.1-17のセシウム134および137の上昇について、2/3に採取した結果前回値より低下していることを確認。

2/3 採取 Cs-134:1.1Bq/L、Cs-137:5.3Bq/L

その他の分析結果は、前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

[地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績]

<地下貯水槽サンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以上